

第8回 子ども学会議(学術集会)のお知らせ テーマ 育ちと学びをつなぐ

本大会では、子どもの発達理解や支援に携わっている研究者、実践者が、「育ちと学びをつなぐ」というテーマで話題や実践活動について議論したいと考えています。子ども達は生得的に持っている種々の機能を使って環境に適応します。このような、生得的な行動と環境との相互作用が後の行動を作り出しています。子ども達が一人一人の持っている個性に応じてどのように新しい行動を作り出しているのかを理解することは、特別な支援を必要とする子ども達の理解や、子育てに不安を持っている養育者、そして子ども達の育ちと学びを支えている養育者・教育者の方々にとって意味あることであると考えています。

第8回子ども学会大会より皆様に、ご案内させていただきます。

本年10月1日(土)・2日(日)、兵庫県西宮市にあります武庫川女子大学におきまして、下記のように第8回子ども学会を開催いたします。大会会場の武庫川女子大学は、神戸空港、伊丹空港、関西国際空港、新大阪駅からも近く、交通の便もよいところにあります。皆様、ふるってご参加くださいますよう大会委員一同お待ち申し上げます。

【日時】2011年10月1日(土)、2日(日)

【会場】武庫川女子大学 MM館

(西宮市池開町/阪神電車 鳴尾駅下車5分、大阪(梅田)駅より25分)

【大会委員会】

- 会長 武庫川女子大学 河合 優年
- 事務局 武庫川女子大学 小花和, W, 尚子
- 大会事務局 武庫川女子大学 教育研究所子ども発達科学研究センター
難波久美子 佐々木恵(子どもセンター)

第1号通信は初夏に子ども学会事務局より送付させていただく予定です。皆様とお会いできるのを楽しみにしております。

準備委員長 河合優年



委員会 だより

●財務委員会より

貧困層の子はお金を「大きく描く」という心理学実験がありました。財務委員長を拝命した私も、いま千円札が大きく見えます。はからずも財務諸表を作る立場になりました時、あわてて本屋で「やさしい経理の本」の類を購入し、「子ども学を支えるお金の工面」について考え始めました。財務委員会は「出ルヲ抑エル」仕分け人になるよりも、「入ルヲ図ル」招き猫になりたいものでございます。みなさまのお患を拝借したくお願い申し上げます。

(沢井佳子)

●広報委員会より

最近のチュニジアやエジプトのあっけない政権崩壊のもとには民衆の不満があり、民主化要求のうねりはインターネットが媒介したと報じられています。

日本子ども学会では、現代社会の有力なツールであるインターネットを活用して、子どもの問題を多角的な研究・実践を踏まえて議論していきたいと考えています。

その手始めとして新しく日本子ども学会の理事になられた方々や設立発起人の方々から「私の子ども学」といった感じで、子どもの問題への関心について問題提起をしていただき、それをもとにインターネット上で議論を深めていく方法を検討しています。

(一色伸夫)

●編集委員会より

日本子ども学会では、子どもに関する学際的な研究の成果をまとめた論文や、子ども学研究に参加する他の領域の研究者を刺激するような問題意識を提示する論文など、多様な投稿をお待ちしております。平成23年度の締め切りは、平成23年9月1日です。奮ってご応募ください。

(宮下孝広)

●総務委員会より

総務委員会は、年に2回行われる理事会と年に1回行われる会員総会の運営を担うほか、その年その年の子ども学会議実行委員会の後方支援も行っています。現在は、今後の子ども学会議の在り方を考える「子ども学会議ガイドライン」を提案し、常任理事会で検討中です。

(所 真里子)